

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公開番号】特開2005-46608(P2005-46608A)

【公開日】平成17年2月24日(2005.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2005-008

【出願番号】特願2004-187425(P2004-187425)

【国際特許分類第7版】

A 4 7 G 9/10

【F I】

A 4 7 G 9/10 M

A 4 7 G 9/10 C

A 4 7 G 9/10 F

A 4 7 G 9/10 J

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月13日(2005.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

以上、本発明の好適な実施例についてそれぞれ説明したが、本発明は前記実施例に限定されることなく、例えば多孔性硬質基板の形状を単に矩形状の平板とするだけでなく、台形や多角形等としてそれぞれ角部を湾曲形成したり、その他円形、楕円形、ハート形等も可能であり、特に頭部と肩部との関係から肩部に邪魔にならないように部分的に湾曲状の切欠きを設けたり、あるいはパッドの収納面積に比べて縮小した面積となるように基板寸法を設定したり、平板面を緩やかな傾斜面ないし湾曲面とする等も可能である。さらには、前述した実施例において、図8に示す多機能携帯枕のパッド・基板収納体において、基板収納部に対し、図6または図7に示すパッド・基板収納体を、それぞれパッド収納部の収納方向(長手方向または短手方向)が重ならないように、パッドを多重にした状態にして多孔性硬質基板を収納して使用することもできる。その他、本発明の精神を逸脱しない範囲内において、多くの設計変更を行うことができる。